

OTEMON GAKUIN
120th
anniversary

皆様からのお祝いメッセージ

元教諭／「山桜会の歩み」編集者

酒井 良之助 (小48期)

120年を経て再認識したい 「独立自彊の心性」

自己保身しか頭になく政治家を筆頭にあまりにも恥多き現象を見るにつけ、120年前に大阪偕行社附属小学校が掲げた教育方針の一つである「独立自彊の心性」を今こそ再認識すべきだと思うと感慨深いものがあります。



元ブルガリジャパン会長

深江 賢 (小61期・ろ組)

祝120周年・「山桜」の矜持

終戦直後の混乱の中に掻き消された小学4年生時に当たる創立60周年から更に曲折の60年。晴れて創立120周年を迎えたわが母校に万感の思いを込めてお喜びを申し上げます。

創立以来の学院精神の支柱でもあろう「山桜」。学院生にその矜持が永遠なることを期待してやみません。



女優

三田 和代 (中高9期)

創立120周年おめでとうございます

私は中学、高校の九期生。「偕行社」という男子校の流れで、女生徒の少ない小規模な学校でした。それが今は、幼稚園から大学までのスケールの大きい学校になった。その発展を嬉しく、誇らしく思っています。母校の名に恥じない俳優に、人間になりたいと思っています。



人形浄瑠璃 文楽大夫

生田 陽三 [豊竹咲大夫] (小68・中高11期)

学院創立120周年おめでとうございます

学院創立120周年おめでとうございます。68期生ですが追手門を卒業して早約半世紀近くとなろうとしております。交通機関等に子どもたちの制服姿を見かけますと、我母校が懐かしく、こういう時期もあったことを思い出します。これからも学院の発展と皆様の御健勝をお祈りしております。



芥川作家

三田 誠広 (小72・中15期)

追手門学院120周年を祝う

小学校在学中に70周年の行事で合唱のメンバーに選ばれ偕行社校歌を録音しました。100周年では宮本 輝さんと講演をしました。120年ときいて年月の重みを感じます。校舎は新しくなっても大阪城の眺めは変わりません。未来の発展を期待します。



国際的指揮者

湯浅 卓雄 (小73期)

祝120年メッセージ

120周年、おめでとうございます。私が小学部で過ごした6年間は、私の人生のなかで、様々な芽を育てくれた、最も時間の流れの緩やかな6年間でした。今こうして音楽の世界に身を置いているのも、その頃のいろいろな学校での体験があってこそなのです。



デフタ・パートナーズ会長／国連(常任諮問団)特命全権大使／財務省 参与

原 丈人 (小76期)

祝120周年メッセージ

人は無一物でこの世に生を受け、父母の恵み、恩師の導き、社会のおかげによって心身ともに成長し、やがて社会に出て一つの仕事を与えられる。これが天から授けられた天職である。49年前に小学部に入り恩師のお陰で今があります。何も返すものありませんが120周年の決意として今後は後輩を育てていきます。



元NHKアナウンサー／追手門学院大学客員教授

寺谷 一紀 (小88期)

120周年おめでとうございます

追手門学院創立120周年おめでとうございます。思い起こせば、小学校5年生の文化祭のときのこと。クラスの演劇発表で、前代未聞の「コント」を企画し、自ら台本まで作成して演じたのが、メディアで仕事をしている私の原点だったと思います。栄えある母校に感謝の毎日です。



アテネ・北京パラリンピック射撃日本代表

田口 亜希 (小94・大中高37期)

創立120周年おめでとうございます

私達卒業生は大阪城天守閣を目の前にすばらしい環境の中で勉強できた事を誇りに思うと共に追手門学院を今日あらためられました先生方、関係者の皆様のご努力に深く感謝の意を表したいと思います。皆様のご健康と、益々のご発展をお祈り申し上げます。

